

## 熱き想いを胸に、時に優しく時に厳しく

### 野球部顧問 大代 忠利(だいたい・ただとし)監督

6月26日(日)、ジリジリと照りつける太陽の下、野球部父母会主催の激励BBQがあると聞き、取材に行ってきた。

到着すると、部員は紅白戦の真っ最中。夏の大会前の実践的な練習だ。ライナー性の強い当たりを目を奪われる。走者はあっという間に3塁へ。「彼はまだ1年生なんですよ。」



顧問の大代 忠利先生という言葉に耳を疑った。確かにまだ体の線が細い選手。どうやら、打撃戦になると楽しみなチームのようだ。

-監督、今年の目標はなんですか？

「まずは、初戦突破。」

-普段の練習でのモットーは？

「応援されるようなチームになれ。そう言っています。」

-このチームの長所は？

「バッティングです。どの打順からでも打てる。皆が平均的に打てる、ということです。」



バッターの強化、ピッチャーのコントロール…

確かに、課題はある。

だが、エースの調子も上がってきた。現在数名の故障者がいるが、夏の大会までには必ず復活すると信じている—

監督が力強く語ると、聞いているこちらも「うん、大丈夫」と思えてくる。



時折、校庭に続く階段の上に、青いお揃いのTシャツを着た保護者が並び、心配そうに紅白戦を見ている。

朝からBBQの準備を続ける保護者の皆さんの、温かい親心が垣間見られた瞬間だ。

紅白戦が終わり、監督が何人かの選手を個別に呼んではアドバイスをする。

私たちの取材中も、常に選手の動向に目を光らせ、気を配っていたのだ。

グラウンド整備が始まった。

「おい、今そんなことをやっている場合じゃないだろ！先に整備しろよ！」と、部員同士でも容赦ない。これは頼もしい。そんな部員を見守っている、5人のマネージャーがいた。



周りをよく見て、先を読む ～ 可愛いだけじゃないマネージャー ～

(以下 敬称略)



2年 菅野 茉佑・菅原 汐里

1年 大谷 咲葵・中島 沙紀・遠藤 あかね

グラウンド整備の時間、マネージャーに話を聞いた。

1年3名、2年2名。3年生のマネージャーはいない。

高校生の1学年の差は大きい。3年の部員に接するのは難しいのでは…というこちらの心配をよそに、目の前では2年のマネージャーが俊敏に動いていた。

#### -マネージャーをやっていて、大変なことは？

「周りを見て動くこと、先を考えて動くこと」と1年のマネージャーが答えてくれた。

これは、2年のマネージャーが身をもって教えているのだろう。

「大変なことは、チームの状況が、マネージャーの目からと選手の目からでは違うことがある、ということです。」

2年のマネージャーの答えだ。1年間の経験値の差が、言葉に表れているようだ。

#### -マネージャーをやっていて、良かったことは？

「ありがとう！と言ってもらえた時」「あと、試合に勝った時！

やっぱり、選手との距離が近いので、共感できるんです。チームとして頑張った、と思えます！」



#### -将来どんな道に進むかは、まだ決めてない？

「マネージャーの経験から、やっぱり何かの形で、人の世話をするとか、人の役に立ちたいと思っています。」(2年 菅野)

「私はもう決まっています！保育士になりたいんです。」(2年 菅原)

その輝く瞳には、明るい未来が見えているようだ。

部員のひとりが言う。

「マネージャーには本当に、感謝しかありません。もし居なかったら、ひどいケガになっていたこともあったかもしれない。」

ケガの手当てへと、いち早く駆けつけるマネージャーの姿が目につくことだった。



### 支えてくれた人に感謝し、それぞれの夏が始まる

「手を合わせて、いただきます！」主将の掛け声とともに、BBQがスタート。

「肉だ、肉だ」と群がる若者たちが若干落ち着いてきたところで、3年生に話を聞くことにした。

まず、今日のバーベキューは「毎年楽しみにしています」

「忙しい中準備してくれて、感謝しています」という声が漏れる。



#### -さて、夏の大会に向けての意気込みを、ひとことお願いします！(インタビュー順)

3年 セカンド 前島 樹(たつる) 好きな食べ物：ラーメン、カレー

「強い相手ですが、自分たちの力を発揮できるよう、がんばります！」

3年 サード 渡邊 真生(まさき) 好きな食べ物：ヨーグルト

「相手は強いんですけど、自分は4番なんで、自分のバッティングでチームの雰囲気盛り上げたいです。」

**3年 レフト 今井 信吾 (主将)**

好きな食べ物：母手作りのハンバーグ

「支えてくれた人たちに恩返しができるよう、がんばりたいです。」

**3年 ショート 渡邊 啓太 (副将)**

好きな食べ物：メロン

「勝つことと同じくらい、楽しんでいきたいです！」

**3年 センター 常岡 泰成(たいせい)**

好きな食べ物：チョコレート

「育ててくれた親、周りの方に感謝しつつ試合に臨みます。」

**3年 セカンド 土屋 翔(かける)** 好きな食べ物：飴

「応援してくれる人たちのために、がんばります！」

**3年 ファースト・キャッチャー 千田 啓人(ちだ・ひろと) (副将)**

好きな食べ物：たこ焼き

「公立の中でのトップを目指し、私学にも負けないところを見せつけます！」



部員たちのために動きまわる父母、応援に駆けつけた卒業したばかりのイケメンOBたち…

このスペースに総勢100名は超えているだろうか。

その誰もが笑顔で、野球部を激励している。

引き続き、他学年にも話を聞いてみた。

#### 今日のバーベキューの感想は？

「美味しかった！」「肉が美味しかった」「肉全般が美味しかった」「いろいろなお肉が美味しかった」「肉にタレの味が染み出て美味しかった」などというバリエーションで、肉が相当美味しかったということが大変よく分かった。



#### どんな監督ですか？

「ダラダラしてると怒る！」「筋肉質！」「スキンヘッド！」見れば分かるよ…とっていると、「頑固だけど、言うことに一貫性がある。ブレないというか…」濁した言葉の後には「だからこそ、ついていける監督です」と続くのだろう。

また、「自分のような目立たないものに対しても、とてもよく

見てくれていて、的確なアドバイスをもらえます」という言葉が複数聞かれた。

控えの選手であっても、監督への信頼感は、相当強そうだ。



「代打として出たら、一打でチームに貢献したい」

「スタンドからたくさん声を出して応援します！」

「今まで練習してきたので、最善を尽くしたい」

「先輩のサポートをして、チームの勝利を願います！」

「ファーストコーチとしてちゃんとやります」

「悔いのないようがんばります」

「グラウンド整備をしっかりやって、皆のためになるようがんばります！」

この日、ベンチに入れる選手、入れない選手が、改めて心をひとつにしたようだ。

必ずや訪れる勝機を逃さず、目標の「初戦突破」、チーム一丸となってぜひ実現してもらいたい—

そう願いながら、会場を後にした。

※スペースの都合上、ご紹介できなかった皆さま、申し訳ありませんでした。

ご協力ありがとうございました。(HP 委員会・部活動支援委員会担当 36 期 北川)